JA 富山市秋期座談会資料

令和4年11月

1.	令和4年産米の品質概況について・・・・・	•P 1
2.	肥料予約注文書兼総合カタログについて・・	•P 6
3.	肥料高騰に対する支援策について・・	•P 8
4.	くらしの総合フェア 2022 のご案内・・・・	• P 11
5.	アグリチャレンジのご案内 ・・・・・・	•P12
6.	信用手数料改定・新設のお知らせ・・・	•P13
7.	相続手続きの「事前予約制」のご案内・・・	• P 13
8.	新型コロナ感染症にかかる入院保障の取扱変更について・	•P14
9.	JA富山市自己改革工程表について・・・・・	•P 15

令和4年産米集荷状况明細書

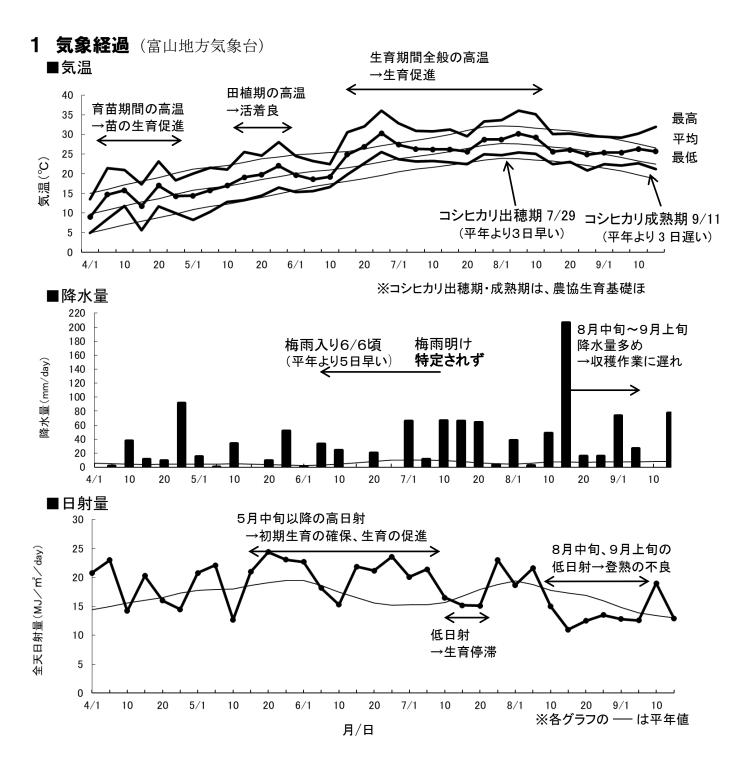
日現在

31

令和4年 10 月

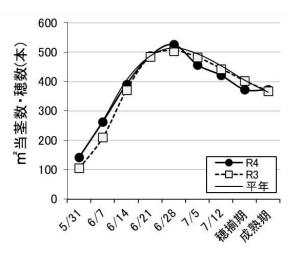
		事	格 出荷契約		会 級	内部		ト休	+	米 田 上 叫			備整米	
	,				ப்	操米縣()		等級		集備		契約	集荷	###
厘 線 (A)		(B)	(B/A)	1等以上	2等	3等	規格外	比極	数量	数量	果何举	数量	数量	果何率
袋/30kg		袋/30kg	% b>	袋/30kg	袋/30kg	袋/30kg	袋/30kg	%	袋/30kg	袋/30kg	%	袋/30kg	袋/30kg	%
525 44,604			38,189 85.6	8 35,880	2,186	105	18	94.0	10,682	5,029	47.1	4,003	3,821	95.5
육 5		280	606 104.5	5 24	525	22		4.0	I	I		_	1	1
計 45,184			38,795 85.9	9 35,904	2,711	162	18	92.5	10,682	5,029	47.1	4,003	3,821	95.5
525 14,069	0		11,657 82.9	9 10,493	1,164			90.0	1,584	800	50.5	1,573	1,382	87.9
もち		24	134 558.3	3 96	38			71.6	I	I	1	1	1	1
	O.	14,093 11,	11,791 83.7	7 10,589	1,202	0	0	89.8	1,584	800	50.5	1,573	1,382	87.9
555 3	5,7	36,708 32,	32,797 89.3	3 29,775	2,932	06		90.8	3,109	2,039	9:59	785'9	661'9	94.2
むち	5	550	582 105.8	8 219	363			37.6	I	I	I	I	1	1
8 程	37,258		33,379 89.6	29,994	3,295	06	0	89.9	3,109	2,039	9:59	785'9	6,199	94.2
5 5 5	31,275		26,965 86.2	2 22,281	4,449	226	6	82.6	1,303	1,273	7.79	4,274	4,257	9.66
きち	2	252	232 92.1	1 0	232			0.0	I	1	I	l	1	1
抽	31,527		27,197 86.3	3 22,281	4,681	226	6	81.9	1,303	1,273	97.7	4,274	4,257	9.66
525	10,113		10,282 101.7	7 9,978	304			97.0	2,621	2,417	92.2	724	724	100.0
もち	1	150	147 98.0	0 0	128	19		0.0	l	ı		_	1	1
抽	10,263		10,429 101.6	826'6 9	432	19	0	95.7	2,621	2,417	92.2	724	724	100.0
555	6,262		6,317 100.9	9 5,155	1,135	27		81.6	208	208	100.0	474	474	100.0
もち	-	138	131 94.9	9 60	71			45.8	_	_	_	I	1	1
丰	6,400		6,448 100.8	8 5,215	1,206	27	0	80.9	208	208	100.0	474	474	100.0
うるち	11,807		11,352 96.1	1 9,478	1,874			83.5	810	579	71.5	870	867	99.7
もち	1	100	81 81.0	0 0	54	27		0.0	_	I	1	I	1	I
111111	11,907		11,433 96.0	0 9,478	1,928	27	0	82.9	810	579	71.5	870	867	99.7
うるち	2,727	27	5 0.2	2		5		0.0	0			389		0.0
もち			-	1	1	_	-	0.0	-	I	ı	I	I	l
1==	2,727	27	5 0.2	2 0	0	5	0	0.0	0	0		389	0	0.0
うるち	157,565		137,564 87.3	3 123,040	14,044	453	27	89.4	20,317	12,345	60.8	18,889	17,724	93.8
もち	1,794	1	,913 106.6	6 399	1,411	103	0	20.9	-	I	I	-	I	1
抽	159,359	59 139,477	477 87.5	5 123,439	15,455	556	27	88.5	20,317	12,345	8.09	18,889	17,724	93.8
4	1771				707 7	707	0.	7 70	14 240	14.020	2 00		700 60	7 70
102 102	1 784	<u>0</u>	1 804 101 0	345		40/	0 0	20.2		14,00,4	20.2	24,000	-	70.7
- 	166,901			147	4	189		97.0	14,248	14.039	98.5	24.000	23.206	96.7
╢														
	165,115			3 149,753		696	237	95.2	14,248	14,248	100.0	24,000	24,000	100.0
6.5 #	144 901	150 270	370 05.5	150	7 9.70	1100	727	4.12 0.1.0	- PA 2 A B	1 2/0	1 001	1000 %	1 000 70	1 001
	· () > -						- 574	Ī			->->			?

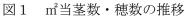
令和4年産米の気象経過と品質概況について(概況版)



2 生育の概要 (生育基礎ほ結果より)

- ・5月下旬の気温は平年より高く、日射量が多かったことから、活着は良好で初期生育は確保された。
- 6月上旬の気温は平年より低かったことで生育の進みは緩慢となった。
- ・6月下旬から7月上旬にかけて気温はかなり高く、日射量も多かったことから、葉齢の展開は進み、 幼穂形成期は「コシヒカリ」では平年より4日早い7月7日頃となった。
- ・7月中旬が低日射で推移したことにより、葉色の低下は緩慢となった。
- ・出穂期は「コシヒカリ」は平年より3日早い7月29日頃となった。
- ・収量構成要素を目標と比較した場合、㎡当穂数は少なく平年並、1穂着粒数及び㎡当着粒数はかなり多く、登熟歩合は低く、千粒重はやや小さく、理論収量はやや多くなった。





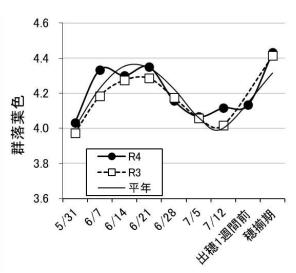


図2 群落葉色の推移

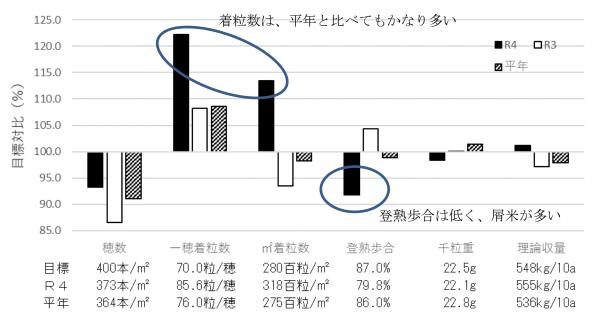


図3 収量構成要素

3 米品質の概況

コシヒカリの出穂後20日間の平均気温は、7月29日出穂で28.9 (**平年27**.3) と非常に高くなり、また、登熟中期以降は低日射となりました。

このため、平年に比べ乳白粒等の白未熟粒の発生が目立つ傾向がみられました。

また、斑点米カメムシ類の発生が多かった地区では、斑点米による格下げもみられました。

	基白粒	背白粒	心白粒	乳白粒
気象要因	登熟初期の 高温	登熟初中期の 高温	登熟初期の高温	登熟中期の高温 または 低日射
栽培的要因	栄養凋落	栄養凋落	着粒数過多 や倒伏	着粒数過多や倒伏

4 土づくりと秋の雑草防除

【土づくり】

①土壌改良資材(ケイ酸質資材など)の施用

土壌改良資材(ケイ酸質資材等)の施用すると、品質向上効果が期待できます。 しかし、施用を中断すると土壌中のケイ酸含量は急激に低下するため、継続的な施用が重要です。 また、ごま葉枯病(写真1)が多発したほ場では、鉄分を含む土壌改良資材を施用しましょう。

ケイ酸による品質向上効果

- ① 稲体のケイ酸濃度を高めることで、**稲体の姿勢がよくなり**、 光合成能力を高く保ち、**登熟や品質が向上**
- ② 割籾が減り、斑点米を軽減
- ③ 茎葉や根が強くなり、倒伏を軽減
- ④ 病害虫に対する抵抗力が向上



写真1 ごま葉枯病の病斑

表1 土壌改良資材の目安

資材名	資材の特徴	標準施用量 (10a 当たり)
ゖぃゕりょうこう 鶏果良好	鶏糞燃焼灰と鉱物系ミネラルを含む。 ケイ酸補給できる資材。	80~100kg
シンキョー ライトP	根張りと地力を高め、品質と収量の向上に役立つ。ケイ酸補給もできるゼオライト資材。	60kg
スーパー けいさん鉄	土づくりに必要な鉄や苦土、ケイ酸を補給し、 アルカリ分による土壌の酸度を矯正する。	100kg

②有機物の施用

- (1) 土壌の腐植を増やし保肥力を高めるには、有機物の 補給が有効です。堆肥や発酵鶏糞には<u>カリ等の養分</u> <u>が含まれます</u>。積極的に施用しましょう(表 2)。
- (2) 水稲収穫後、なるべく早い時期に稲わらをすき込み、腐熟を進めましょう。

表2 堆肥の施用の目安(秋施用の場合)

F 10 1 7 10 1 1	1.2. (2=2.11 %)
種類	施用量(/10a)
牛ふん堆肥	1 0.
豚ぷん堆肥	1∼2t
籾殻堆肥	2t
発酵鶏糞	150kg

③深耕の実施

- (1) 秋耕·春耕の2回起こしで、作度の深さ15cm以上の深耕をしましょう。
- (2) 秋耕後に排水溝を設置し、深く掘り下げた排水口へ確実に連結しましょう。

【秋の除草対策】~次年度の雑草対策は、収穫後の除草剤散布から~

雑草の発生が多いほ場では、複数年にわたる継続的な雑草対策により発生量を減らしていく ことを心がけましょう。

薬剤名	使用時期	10 a 当たり散布量	使用回数	使用方法
プリグロックス L	稲刈り後、または春期水田耕起 一か月前から起耕前まで	800~1000 ml <u>(希釈水量 100~150 L)</u>	1 0	雑草茎葉散布

①一年生雑草(ヒエ、クサネム等)の対策

【効果】 ・1年生雑草の種子の発芽抑制等により、雑草の密度を低減。

【注意点等】・<u>漏生籾や雑草種子に薬剤が触れないと効果がない</u>ので、 <u>ほ場を耕起する前(種子を土中にすき込む前)に</u> しっかりと散布する。

> ・<u>非選択性除草剤</u>なので、<u>散布の際は風向き等に注意し、</u> 付近の作物等にかからないようにする。



写真2 刈取後にも発生するヒエ等

②多年生雑草(クログワイ等)の対策

薬剤名	使用時期	10 a 当たり散布量	使用回数	使用方法
ラウンドアップ	 稲刈り後(雑草生育期)	1 年生雑草:200~500 ml		
マックスロード	☆10 月末までが効果的	多年生雑草:500~1000 ml	1回	雑草茎葉散布
N J J Z L	A TO JAACA MARIN	(希釈水量 50~100 L)		

【効果】

・<u>塊茎を形成する雑草</u>(オモダカ、ミズカヤツリ、クログワイ等)にも浸透移行し、 雑草密度を低減。

【注意点等】

- ・雑草全体に十分薬剤が付着するよう散布する。
- ・薬剤がかかりやすくなるように稲ワラを均一に散らす。
- ・気温が低くなると薬剤の効果が十分に得られないので10月末までに散布する。
- ・非選択性除草剤なので、散布の際は風向き等に注意し、付近の作物等にかからないようにする。

※多年生雑草には秋耕も有効です

- ・稲刈り直後から冬期までの間にロータリー耕を行いましょう。
- 【効果】・雑草地上部の埋没や、茎や根を切断することで塊茎の形成量を抑えるとともに 塊茎を露出させ冬期の低温に遭遇させて密度を低下する。

※ラウンドアップマックスロードを散布し、剤が根や塊茎に行きわたってから秋耕(約1か月後) するとさらに効果が高まります。







③「水田畦畔」の雑草対策

薬剤名	使用時期	10 a 当たり散布量	使用回数	使用方法
カソロン粒剤 6.7	雑草発生前~発生始期	4~6kg	1回	全面土壌散布

【効果】 ・秋冬期~春期に、畦畔に散布することで、6月頃までイネ科雑草の発生を抑える。

・カメムシの餌をなくし、カメムシの越冬世代と次世代以降の発生密度を減らす。

【注意点等】・均一に散布する。・法面に散布しない。・大麦等畑作物の作付ほ場には使用できません。

肥料予約注文書兼総合カタログについて

昨年度は、令和 3 年 10 月 20 日注文書締切、翌 11 月からの配達となっていました。しかし、今年度においては昨今の情勢により昨年と比べ約 1 か月遅れとなる 令和 4 年 11 月 17 日注文書締切、翌 12 月からの配達開始となります。

JA グループでは、組合員の皆様からの予約注文に基づき肥料の安定供給に努めてまいります。 ぜひ、早期予約取りまとめにご協力下さいますようお願い申し上げます。

① 配達時期の変更について

令和4年度までの配達時期については、11 月~12 月末日(年内)までを「年内取配達」、1 月~3 月までを「春取配達」として実施していました。しかし、令和5 年度より「年内取配達」を 12 月~翌年2 月末までとした<u>「冬取配達」</u>に変更させて頂きます。また、<u>「春取配達」</u>については期間を3 月からの配達に変更させて頂きます。

② 取扱品目の変更について

富山県内の土壌に不足している「カリ」と「けい酸」を同時に補給するための肥料として、令和4年度は「スーパーエスアイ加里」の取扱いを行っていました。しかし、昨今の世界情勢を踏まえ、国内原料を活用し供給の安定性を見直した肥料へ転換するために、令和5年度肥料から<u>「鶏果良好」</u>への取扱い変更とさせて頂きます。

対象品目

従来品(令和4年度まで)	新品目(令和5年度から)
スーパーエスアイ加里	鶏果良好
ケイ酸:24、アルカリ:30、苦土:3 リン酸:3、カリ:7	ケイ酸:26.5、アルカリ:26、苦土:1.5 マンガン:1、リン酸:3、カリ:5

配達時期

> | 冬取配達予約

12月~2月末日までに配達致します。

▶ 春取配達予約

3月から配達致します。

▶ | 春 取 自 引

日時: 令和5年3月18日(土)、19日(日)、25日(土) 26日(日)

時間:8:30~16:00

場所: ○ 新保、熊野、月岡、蜷川、堀川地区の方物流センター(富山市吉岡 467-1)

○ 太田、山室地区の方

太田倉庫(富山市太田中区45)

対象商品:令和5年度肥料予約注文書掲載商品

(自引日に引取されなかった場合は、春取配達予約価格にて配達させて頂きます)

※一部商品におきましては、品質保持の為、3月からの配達とさせて頂きます。

※冬取配達でご注文いただいた商品で3月以降の配達希望の場合は、春取配達価格に変更させていただきますのでご了承願います。

※冬取配達予約で1月以降に配達した肥料につきましては、令和5年の確定申告の対象となります。

代金決済時期

> | 冬取配達予約

令和5年3月1日(水)・・・ 口座引落

▶ 【春取配達予約

令和5年5月1日(月)・・・ 口座引落

▶ | 春 取 自 引

令和5年5月1日(月)・・・ 口座引落

予約価格

> | 冬取配達予約 |

当用価格より7%引きにてご提供致します。最もお得な価格です。

▶ ■春取配達予約

当用価格より5%引きにてご提供致します。

▶ | 春 取 自 引

春取配達予約価格より2%引きにてご提供致します。

上記期間内に自引された方のみ対象とさせていただきます。

肥料価格高騰対策事業

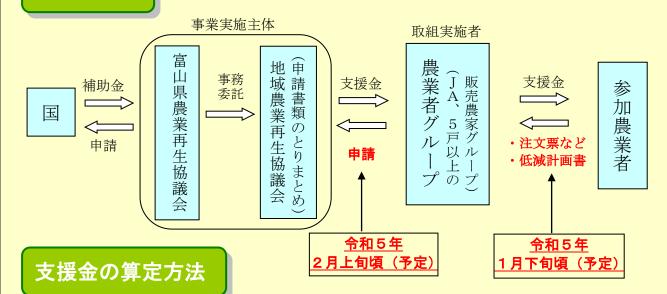
事業の内容

化学肥料の2割低減の取組を行う農業者に対して、肥料費の増加分の7割を支援します。支援対象となる肥料は、本年の秋肥と来年の春肥として使用する肥料が対象です。

支援の対象者

- ①化学肥料の使用量の2割低減に向けた取組みを行う農業者のグループ (JA、農事組合法人、その他農業者の組織する団体など)で、代表者の定めがあり、かつ、組織及び運営についての規約の定めのあること。
- ②農業者グループは5戸以上の販売農家が参加していること。

事業の流れ



支援金は、下記の算定式によって計算します。

支援金 = (当年の肥料費-当年の肥料費÷価格上昇率÷使用量低減率) × 0.7 ※価格上昇率は、国が統計データを基に決定します。低減率は、0.9 です。

※支援金の支払いには、肥料の種類、数量、購入費について確認できる書類(注文票、請求書、領収書など)と、化学肥料低減の取組を2つ以上行う化学肥料 低減計画書が必要です。

支援の対象となる取組

支援の対象となる「化学肥料低減の 取組」は右表のとおりです。令和5年 度までに、2割以上の化学肥料低減に 向けて右表メニューのうち2つ以上取 り組む必要があります。

既に取り組んでいるものについては、取組の強化・拡大で支援の対象となります。

また、本県では秋肥と春肥を別々に申請するのではなく、秋肥と春肥をまとめて年間1本で申請する方式とします。主に生産している作物について2つ以上の低減取組を行うことが事業の参加要件ですので、例えば水稲を主に生産していて、大豆、大麦、野菜等も生産している場合、水稲についての取組を化学肥料低減計画書に記載してください。

- ア) 土壌診断による施肥設計
- イ) 生育診断による施肥設計
- ウ) 地域の低投入型の施肥設計の導入
- エ) 堆肥の利用
- オ) 汚泥肥料の利用(下水汚泥等)
- カ) 食品残渣など国内資源の利用 (エ、オ以外)
- キ) 有機質肥料(指定混合肥料等を含む)の利用
- ク) 緑肥作物の利用
- ケ) 肥料施用量の少ない品種の利用
- コ) 低成分肥料(単肥配合を含む。) の利用
- サ) 可変施肥機の利用 (ドローンの活用等を含む)
- シ)局所施肥(側条施肥、うね立て同時施肥、灌注施肥等) の利用
- ス) 育苗箱 (ポット苗) 施肥の利用
- セ) 化学肥料の使用量及びコスト低減の観点からの施肥
- 量・肥料銘柄の見直し(アからスまでに係るものを除く。)
- ソ) 地域特認技術

支援の対象となる肥料

肥料法に基づく肥料が対象です。(加工床土、ゼオライト等は含みません)

- 肥料法に基づく肥料とは?
 - ① 普通肥料 (窒素質肥料、りん酸質肥料、けい酸質肥料、化成肥料等)
 - ② 特殊肥料 (含鉄物、貝化石粉末、堆肥等)

肥料法に基づき登録又は届出がある肥料には、<u>保証票もしくは肥料の品質の確保</u> <u>等に関する法律に基づく表示</u>等が記載されています。

例

生産業者保証票

登録番号

肥料の種類

肥料の名称

保証成分量(%)

原料の種類

材料の種類、名称及び使用量

正味重量

 \sim

化成肥料の表示》

特殊肥料 (肥料の品質の確保等に関する法律に 基づく表示)

肥料の名称

肥料の種類

届出をした都道府県

正味重量

生産した年月

生産業者(表示者)の氏名又は名称及び住所 (原料)

(主要な成分の含有量等)

《 貝化石粉末等 》

※()は、たい肥等の表示

問い合せ先

富山市農業再生協議会 (TEL:076-429-2555) 富山市農業協同組合 南支店 (TEL:076-428-1122) 富山市農業協同組合 中央支店 (TEL:076-425-2888)

○農林水産省ホームページ https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_hiryo/220729.html

富山市内農業者の皆様へ 来年の営農に向けて支援します!

富山市単独事業・農業用物価高騰対策緊急支援事業について

物価高騰による農業経営への影響緩和のため、肥料・飼料等の価格上昇の一部を支援します。

【対象者】

富山市内の農業者(販売農家)のうち、来年も農業を継続する方

田における補助対象は、 令和4年度の確認野帳・営農 計画書から集計します。

【交付対象・交付単価】 肥料・飼料等高騰対策緊急支援事業補助金

区分	補助 対象		交付単価
	H	畑	
主穀作	令和4年産米(自家消費用として水稲 10 a 分を除く)、出荷作物(麦、大豆、飼料作物、 そば等の経営所得安定対策の産地交付金対象)の作付面積 ただし、助成対象農地につき基幹作のみへ の助成(2 毛作でも1 作のみ対象)	出荷作物 (そば 等) の作付面積	2,000 円以内 /10a
園 芸	出荷作物の作付面積または出荷を目的に作付し	ノている面積	
果樹	出荷作物の作付面積または出荷を目的に植栽し	ノている面積	5,000 円以内/10a
	出荷を目的に飼養している乳用牛(令和4年)	9月末時点)	40,000 円以内/頭
 畜 産	出荷を目的に飼養している肉用牛(令和4年)	9月末時点)	20,000 円以内/頭
	出荷を目的に飼養している豚(令和4年9月	末時点)	500 円以内/頭
	出荷を目的に飼養している鶏(概ね100羽以上)(令和4年9月末時点)	30円以内/羽

【申請方法】

①市内農業協同組合に農作物等の出荷がある方

畜産は、手続きを 10月から始めています。 ※園芸・果樹と畑の対象 面積及び畜産の飼養頭羽 数は、根拠資料を提出し てください。



②市内農業協同組合に農作物等の出荷がない方



①の関係書類は、11月中旬頃から農協を通じて配布・回収し、補助金は、12月末頃までにお支払いする予定にしています。

②の方については、交付申請書等は、農業水産課(市役所 4 階)、農林事務所農業振興課(大沢野行政サービスセンター2階)で配布しています。また、市ホームページ(「農業水産課」で検索)からもダウンロードできます。

12月28日(水)までに、交付申請書等を、郵送または直接提出してください。

問 富山市 農業水産課 ☎443-2083 農林事務所 農業振興課 ☎468-2449





くらしの総合フェア 2022

12月 9日(金)

 $9:00\sim19:00$

10日(土)

 $9:00\sim15:00$

JA富山市本店3階特設会場 (富山市吉岡466-1)















担い手農家のための「学び」「集い」「発見」の2日間

2022

12/9[金]·10[土]

9:00~16:00 (10日は15:00ま

場所 富山産業展示館(テクノホール)

いちおし スマート農機

JAグループの いちおし農機をご提案

最新農機

各メーカー 最新農機を展示

省力化機械

ドローン& 水田水管理機器

記念品 進呈

※来場された方にもれなく

お米の 成分分析

玄米300gお持ちください。 その場で分析いたします。

新型コロナウイルス感染症予防対策へ ご協力をお願いいたします。







農機ミニ講習会開催

担い手農家向けセミナ-

両日開催

10:00-11:00 「ここが知りたい! 農業消費税インボイス制度」

13:00-14:00 「農業をめぐる情勢と農林水産関係予算の概要」

税理士法人富山合同会計 高岡市場通事務所 税理士 松田 仁志 氏

生産者の皆様に役立つ最新のトピックスを ご用意しました。ぜひご参加ください。



豆知識!! 役立つ情報をお伝えします!

12 • / 富山県JAグループ/JA全農とやま

信用手数料改定・新設のお知らせ

平素より、当JAの信用事業をご利用いただき厚く感謝申し あげます。さて、令和5年1月4日より、下記の通り両替手数 料の改定、大量硬貨入金・金種指定払出手数料の新設をさせ ていただきますので、ご案内申しあげます。

記

両替·大量硬貨入金·金種指定払出手数料

令和5年1月4日

手数料	4一覧表(両替・大量硬貨入金・金種指定払出)
枚数	手数料金額
1~49	無料
50~100	440円
101~500	880円
501~1000	1,100円
500毎	440円

※1000枚を超えた場合は1枚~500枚毎に440円を加算した金額となります。

- ◆ 同時に複数件のお取引をされる場合、各取引の枚数を合計し手数料を算出します。
- ♦ 新券への両替については、同一金種であっても50枚からは有料となります。
- ◆ 寄付金、義援金、税金の振込・払込は無料です。
- ◆ 店舗の繁忙状況等により、大量硬貨のお持ち込みをお断りする場合がございます。
- ◆ 紙幣の在庫状況により、ご希望の金種をご用意できない場合がございます。
- ◆ 無料でのお取扱いは、1日枚数内(1~49枚以内)とさせていただきます。

相続手続きの「事前予約制」のご案内

相続手続きに関しまして、お待たせすることなくスムーズな対応を行うため「事前予約」のお願いをしています。ご来店の際はお電話または窓口にてご予約ください。詳しくは支店窓口へお問い合わせいただきますよう、よろしくお願いいたします。

富山市農業協同組合 南支店☎428-1122 中央支店☎425-2888

JA共済

新型コロナウイルス感染症にかかる 入院共済金等のお支払いについて

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さまに謹んでお見舞い申しあげますとともに、一日も早いご回復を 心よりお祈り申しあげます。

JA共済連(全国共済農業協同組合連合会、以下「当会」)では、令和2年4月から実施しております新型コロナウイルス感染症にかかる入院保障の特別取扱い(以下「みなし入院」)のお支払い対象者について、令和4年9月26日(月)より、以下のとおり見直します。

何卒ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。



「みなし入院」のお支払い対象者について

令和4年9月26日(月)以降、医師により「新型コロナウイルス感染症」と診断された方のうち、<u>重症化リスクの高い以下の方</u>とします。

● 重症化リスクの高い方 ●

65歳以上 の方 入院を 要する方 妊娠中 の方 重症化リスクがあり、新型コロナウイルス治療薬の投与または 新型コロナウイルス罹患により新たに酸素投与が必要な方

※令和4年9月25日(日)以前に新型コロナウイルス感染症と診断された方につきましては、重症化リスクにかかわらず、従前どおりのお取扱いといたします。

	ケース		診断日**	
参考 新型コロナウイルス感染症と 診断された場合の お支払い範囲			9月25日以前	9月26日以降
	入院された場合		○ お支払対象	○ お支払対象
	宿泊・自宅療養された場合 (特別取扱い)	重症化リスクの高い方	○ お支払対象	○ お支払対象
		上記以外の方	○ お支払対象	🔀 お支払対象外

※検査日ではなく、診断日での判断となります。



「みなし入院」の取扱いを 開始した経緯について

入院共済金等は、共済約款において「医師による治療が必要」であり、「自宅等での治療が困難」なため、 「病院または診療所に入り」、「常に医師の管理下にお いて治療に専念する」場合にお支払対象とする旨、定 めています。

令和2年4月当時、新型コロナウイルス感染症に罹患され、病院または診療所への入院が必要な状態にも関わらず、病床の逼迫等の事情により入院することができない状況が発生したことを受け、当会では、組合員・利用者の「安心」と「満足」を提供するというJA大注事業の使命のもと、医飾等の管理下で宿泊施設や自宅での療養を余儀なくされた場合も、「入院」と同等に取り扱う特別取扱い(みなし入院)を開始いたしました。

ポイント **3**

今回の見直しの背景について

今般、政府より新型コロナウイルス感染症に係る発生届の対象範囲について、令和4年9月26日(月)以降は全国一律に「重症化リスクの高い方」に限定されることが公表され、あわせて療養の考え方についても見直されることとなりました。

今回の政府による措置等を踏まえると、重症化リスクの高い方以外(医師による発生届の対象とならない方)については「常に医師の管理下において治療に専っする」状態との判断ができなくなることから、令和4年9月26日(月)以降の「みなし入院」のお支払い対象者について、見直すことといかしました。

※今後、法令の改正等がなされた場合には、必要に応じて更なる 対応を行う可能性があります。



見直し後の ご請求手続き について

見直し後のご請求手続きにつきましては、「重症化リスクの高い方であること」の証明が必要となります。本人確認書類や母子手帳など、組合員・利用者あるいは医療機関等の負担とならないよう検討し、後日あらためて当会ホールなーン等にてご案内いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせについては、下記にて承ります。

なお、個別のご契約内容(共済金の支払いに関する事項等)については、ご契約先のJAへお問い合わせください。

JA共済 相談受付センター 電話番号

0120-536-093

受付時間

午前9時から午後6時(月曜日~金曜日*) 午前9時から午後5時(土曜日*)

※祝日を除きます。

※当会ホームページ(https://www.ja-kyosai.or.jp/)においても、新型コロナウイルス感染症に関連した当会の取組みについて、随時最新の情報を掲載しておりますので、あわせてご確認ください。

22485000043

JA 富山市自己改革工程表

JA 富山市は、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」「農産物の生産・販売拡大」「地域の活性化」を基本目標とする創造的自己改革の実践に全力で取り組んできました。

これまでに自己改革として、地域農業振興支援事業に基づく生産者の支援、契約栽培米「ゆうだい21」の推進、直売所・インショップによる販売強化等の取り組みを進めてきました。

この結果、平成31年に実施した「JAの自己改革に関する組合員調査」等において、多くの正組合員から、一定の評価と自己改革への一層の期待、准組合員から、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。

今後とも、JA 富山市は、地域になくてはならない JA であり続けるため、自己改革の実践を支える持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

農業者の所得増大・生産量の拡大

- 1 訪問活動や座談会を通じた「組合員との対話」を原点としてニーズを的確に把握します。
- 2 「農業者の売上増加・コスト低減」につながる必要な取り組みについて、目標及び実 践具体策の策定等とあわせて実践し、改革の目的である「所得増大」を実現するほか、「地域の活性 化」にも取り組みます。
- ・ 担い手を中心とした必要とする全ての組合員を対象として、次のことに取り組みます。
 - ア. 水田のフル活用(保全管理水田の縮小)
 - イ. ゆうだい 21 の生産拡大
 - ウ. 農産物直売所の販売拡大による売上増加
 - エ. 高収益作物導入による売上増加
- 「地域の活性化」に向けては、次のことに取り組みます。
 - ア. 福祉施設等へのイベント参加 イ. 小学校出前授業の開催 ウ. 農業祭の開催
- 3 改革の取り組みと成果について対話等を通じて評価を把握し、次の改革につなげることで、PDCA サイクルを回し、不断の自己改革を着実に実践します。

自己改革の実践に向けた組合員の意思反映

自己改革の実践にあたっては、トータルサポートチームによる組合員の個別訪問や集落座談会による組合員との直接対話によるニーズの把握を進めるとともに、農業祭等のイベントの開催を通じて「正組合員とともに、地域農業や地域経済の発展を支える組合員」である准組合員の声も聴くことで、正組合員と准組合員が一体となった JA 運営を実現します。今後も組合員の意見・評価を踏まえながら自己改革の実践・見直しを図ってまいります。

また、農業振興の応援団でもある准組合員の事業利用にあたっては、正・准組合員の利用状況を把握したうえで、改革の目的である「農業者の所得増大」に繋がるよう取り組みます。

自己改革を支える経営基盤の確立・強化の取り組みについて

管内農業においては、引き続き高齢化が進展しており、新たな担い手の育成が急務となっています。販売品販売高は 20 億円前後で推移していますが、米の需要の減退を背景とした米価の下落や生産調整の強化による販売品販売高への影響が懸念されます。また、農林中央金庫の奨励金の削減や長期共済保有高の減少により信用事業・共済事業の収益も減少傾向にあります。

こうした情勢のなか、5年後の成行きについてシミュレーションを行ったところ、現状のまま事業改革を進めなかった場合事業利益が大幅に減少し、令和7年度以降は事業利益の確保が困難となることが予想されます。事業利益減少の要因は信用・共済事業に依存した JA 全体の収支構造にあり、超低金利政策や農林中央金庫の奨励金の削減により、信用事業の収益減少が想定される中、営農経済事業の赤字を信用・共済事業でカバーできなくなったことにあります。JA 富山市では将来を見据え、支店統廃合等の経営効率化を進めて参りましたが、事業管理費の削減が限界を迎える中、全ての事業において事業総利益の創出に向けた取り組みを進める必要があります。

重点目標

地域内企業との業務提携による収益力の強化

令和6年度

農業者の所得増大・農業生産の拡大 水田のフル活用による収入増加(保全管理水田の縮小) 令和4年度 令和5年度 令和6年度 対象者:全農業者 目標 目標 目標 売上増加効果 令和6年度 保全管理水田 140.0ha 10aあたり81千円 165.0ha 145.0ha 140.0ha ゆうだい21の生産拡大による売上増加 令和4年度 令和5年度 令和6年度 売上増加効果 対象者:主食用米生産者 目標 目標 目標 令和 6 年度 160.0ha 10aあたり14千円 140.0ha 150.0ha 160.0ha 農産物直売所の販売拡大による売上増加 令和4年度 令和5年度 令和6年度 売上増加効果 対象者:園芸作物栽培者 目標 目標 目標 令和6年度 生産者1人あたりの農産物販売高 販売高10%増 1.5%增 5%增 10%增 令和4年度 令和5年度 高収益作物導入による売上増加 令和6年度 目標 目標 目標 売上増加効果 対象者:園芸作物導入希望農家 1tあたり500千円 6t 8t 12t 吉ネギ 12t 令和6年度 切花 50,000 本 1本あたり85円 40,000本 50.000本 33,000本 令和4年度 令和5年度 令和6年度 地域の活性化 目標 目標 目標 各種イベントへの積極的な参加 6団体 10団体 15団体 福祉施設等へのイベント参加 15団体 2校 7校 10校 令和6年度 小学校出前授業の開催 10校 1,500世帯 1,700世帯 1,200世帯 農業祭参加者数の拡大 1,700世帯 経営基盤の確立・強化 令和4年度 令和5年度 令和6年度 目標 目標 目標 農業関連施設の機能再編による合理化推進 再編整備検討 方針決定 順次再編 令和6年度 乾燥調製施設(水稲)・大豆選別場 目標 目標 目標

対話・意思反映							
項目	令和3年度計画	令和3年度実績	令和4年度計画				
トータルサポート室に よる組合員訪問 _(人数)	部署の発足 組織体制の整備	部署の発足 組織体制の整備	正組合員 2,256人 准組合員 1,886人				
集落座談会 (回数)	年2回	年2回	年2回				
青年部との意見交換会	年1回	未実施(コロナ)	年2回				
各種団体長会議	年1回	年1回	年1回				
直売所利用者モニター	_	_	モニタリングの実施				

提携企業拡大

提携企業拡大

組織化